

党創立103周年記念講演会レジュメ

日本共産党はどういづれか——歴史的岐路での役割

幹部会委員長 田村智子

一、政治の行き詰まりと危機を、国民との共同によって打開する党

市民と野党の共闘——曲折や困難はあっても自公少数に追い込んだ

『反動ブロック』の危険に立ち向かう『新しい国民的・民主的共同』への共感

二、自民党政治のゆがみを根本からたたかし、新しい政治への希望を拓く党

「失われた30年」は、「財界・大企業最優先」の経済失政

●所得再分配の破壊——消費税増税と社会保障の連続削減

●あまりにもひどい搾取——労働者にもっと富の分配を

国際的な孤立と落日——こんな米国トランプ政権に黙つてついていくのか

●イスラエル支持で孤立するアメリカ——問われる日本の姿勢

●アメリカいいなりの大軍拡は、戦争への道

三、極右・排外主義と正面からたたかい、人権の尊重を求める党

極右・排外主義と断固としてたたかい、本当の改革へ人々の結集を

●新自由主義の破綻の反動的あらわれ

●排外主義に抗議する幅広い市民との連帯

●歐州左翼政党の排外主義とのたたかいに学んで

●政治を変えてほしいという「願いを共有」し、「希望を届ける」「

ジェンダー平等への逆行は、排外主義の大きな弱点

四、核兵器廃絶、平和の地域協力の構築へ、国際連帯を広げる党

核兵器廃絶へ——「核抑止」論を乗り越え、核兵器禁止条約を前へ進める

- ユーラシア大陸の東西での欧洲議員との連帯

東南アジア、欧州、そして北東アジアでの対話——「東アジア平和提言」を力に

- 欧州——ドイツでの国際会議と左派政党との対話

- 北東アジア——中国、韓国の政府との対話

五、資本主義がもたらす害悪とたたかい、未来社会の展望をもつ党

- 『資本論』を導きに、未来社会への展望を語る

あなたの入党をよびかけます

以上